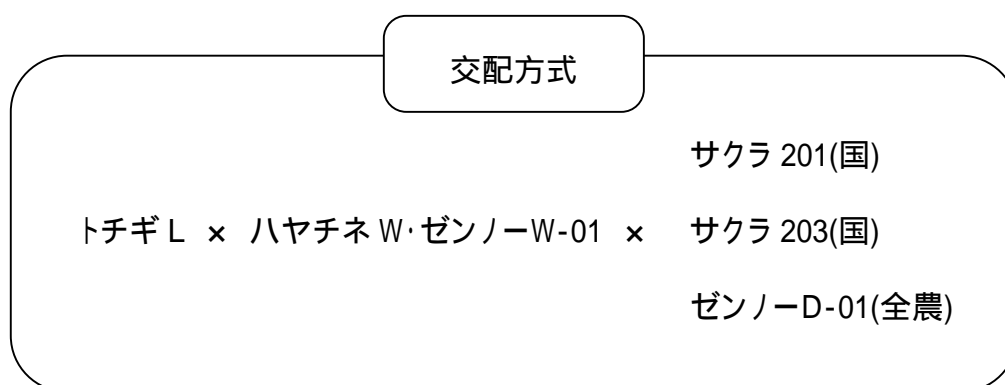


## 系統豚「トチギL」を基礎とした大ヨークシャー種、 デュロック種の組合せ試験

系統豚は、適切な系統間交配を行うことで高品質かつ斉一性の高い肉豚の生産が可能となります。しかし、同じ品種の中でも体型や産肉性などの能力に差がみられるため、「トチギL」と他県等で系統造成された雄系系統豚との相性の良い組合せを選定する試験を実施しています。現在のところ、大ヨークシャー種についてはイワテハヤチネ W(岩手)及びゼンノーW-01(全農)の2系統を推奨しています。今回は、デュロック種3系統の場内と畜場における発育成績及び枝肉成績について御紹介したいと思います。



発育成績及び枝肉成績(湯はぎ)

供試豚	例数	平均肥育 終了体重 (kg)	110 kg 到達日齢 (日)	生時～ 110 kg DG (g)	背脂肪厚 (cm)	ロース 断面積 (cm <sup>2</sup> )*
LWD1	24	105.1	157.2	663.2	2.2	26.0
LWD2	17	110.1	164.8	664.6	2.5	24.6
LWD3	24	110.7	160.6	681.8	2.2	23.9

L:トチギL W:ハヤチネ W 及びゼンノーW-01  
D1:サクラ 201 D2:サクラ 203 D3:ゼンノーD-01

\*:第5～第6胸椎間

サクラ 201 については終了体重が他の2系統と異なるため、単純比較はできませんが、サクラ 201 では産肉性、ゼンノーD-01 では発育性において良好な結果となりました。なお、今後は市場出荷成績もふまえてデュロック種の推奨組合せを決定し、さらに新しく大ヨークシャー種の系統豚として認定を受けたゼンノーW-02(全農)について組合せ試験を実施する予定です。